

# こんにちは 山田耕平 です

2015.3.5 No.186

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp



## 予算特別委員会スタート

# 重要答弁を引き出す 党区議団の論戦

## 区政情報の周知不足問題 広報の試験的全戸配布決定

杉並区議会予算特別委員会が始まっています。来年度の予算編成に関する質疑を行なう委員会となります。党区議団の論戦の中で、いくつかの重要答弁を引き出しました。

杉並区は区政情報を住民に周知するために「広報すぎなみ」を発行し、新聞折り込み等で各家庭に届けています。しかし、新聞発行部数が減少することに伴い（下表）各家庭に届く広報は55%程度に落ち込んでいます。

この間「折り込み」のみに頼る情報周知の限界を指摘し、全戸配布による情報周知を求め続けたところ、試験的に全戸配布を実施することが示されました。住民周知が滞るなか、直近の杉並区長選挙の投票率が28%台に落ち込むなど、区政情報の周知徹底は重大な課題です。

## 国有地の積極活用を提案

党区議団が取り上げ



廃止決定された高円寺宿舎

続けている国有地を活用した福祉施設整備や防災拠点整備についても、活用の検討が始まっています。新たな国有地の情報を示し（右下表）積極的な活用を求めたところ、「主目的等も含めて、用地の形状・規模・接道条件などを勘案

区報の折り込み数の変動

新聞社名	2014年度	2009年度
朝日新聞	62,020	66,000
毎日新聞	21,800	27,300
読売新聞	43,250	47,300
日本経済新聞	29,890	31,650
東京新聞	5,900	6,200
産経新聞	6,100	8,000
合計	168,960	186,450

※押し紙問題（実態とかけ離れた折込数を示し、発行部数を偽ること）を指摘して以降、一気に減少。

「広報すぎなみ」は毎月三回、十一月・二十一日に発行され、各家庭に新聞折り込み等で届けられる。

し、用地取得の判断について回答する”旨が示されました。今後、更なる活用が求められます。

## 同性パートナー証明検討開始

近年、性的マイノリティに対する理解を深めようとする動きが活発化しています。渋谷区では、同性カップルに対して「結婚に相当する関係」を認める証明書を発行する条例案を提出しました。他の先進国に比べても法整備などが送れるなか、杉並区でも「同性パートナー証明」の検討を求めたところ、「渋谷区の情報を収集し、どのような支援が可能なのか、様々な角度から検討する」との答弁を受けました。多様性が認められる社会整備に向け力を尽くします。

廃止決定された国家公務員宿舎(1000㎡以上の抽出)

名称	所在地	面積	利用状況
杉並高井戸寮	高井戸東 4-5	2196㎡	廃止準備中
上高井戸住宅	高井戸東 3-30	3841㎡	廃止準備中
高円寺宿舎	高円寺北 1-27	1034㎡	活用照会中

2015年2月時点

# 住民の廃止提案 都は採用しない方針

## 民意を無視する暴挙 話し合いの会も紛糾

外環の2地上部街路の廃止を求める住民の都市計画提案に対し、東京都は住民の声や自治体の意見も聞かず「採用しない」方針を示しました。計画沿線住民の民意を踏みにじる暴挙です。

二月十八日に開催された外環の2に関する「話し合いの会」でも、この問題での質疑が相次ぎ、東京都の姿勢に住民の怒りの声が寄せられました。

今後、東京都から杉並区への意見照会が行なわれる。

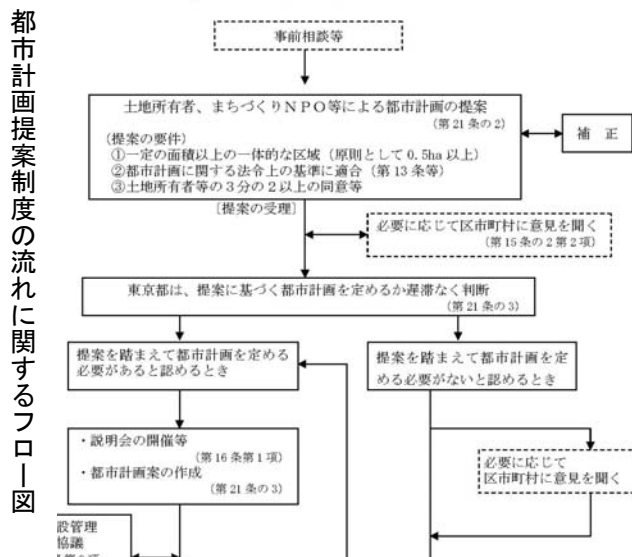
杉並区は区の「都市計画審議会」に諮り、意見を述べることになる（党区議団の代表質問に答弁）。

都は区意見を踏まえた上で、都市計画提案への最終判断を行なう。

## 区の見解を尊重する 都の重大な答弁

話し合いの会では、議事の最後に廃止提案の中心で活動された住民から「杉並区に単に形だけで聞くのか、意見を尊重するのかを回答して欲しい」との質問が出され、都の担当課長は「意見を踏まえて内部で検討もするし意見を尊重もしたい」と答弁しました。地元自治体である杉並区の見解を「尊重する」との回答があったことから、今後、杉並区への回答が極めて重要な意味を持ちます。外環の2廃止に向けた重要な局面を迎えています。引き続き、不要不急な大型開発を優先する政治を改めるため、力を尽くします。

都市計画提案制度の流れ



都市計画提案制度の流れに関するフロー図

## 育メン日誌

真っ先に迎えに！もうメロメロ...

最近、議会の準備で夜遅くに帰宅する日々が続いています。子どもたちが寝る直前に帰宅すると、いつも真っ先に娘が迎えに来てくれます。

もの凄いテンションで駆け寄ってくる姿に私はメロメロ…。こうして親バカになっていくことを実感しています（苦笑）。



## ～忘れ物のお知らせ～

2月8日に行なわれた「春を呼ぶつどい」でマフラーの忘れ物がありました。お心当たりのある方はご連絡ください。



## ～4年間を振り返って～③ 専門性を活かした論戦

社会福祉士の専門性を活かし、特に保健福祉分野での論戦に力を尽くしてきました。保健福祉分野に関する議会質疑時間はトップです。

議会で待機児童保護者の深刻な実態を何度も告発し続けてきました。保護者との共同を深め、その後保育待機児童問題は社会問題化し、多くのマスコミに議会論戦が取り上げられました。現在、認可保育所の大幅増設が始まっています。

未利用公有地への特別養護老人ホーム整備も提案してきました。UR荻窪団地跡、永福南小学校跡などの公有地活用が進み、土地確保が困難な都市部での小規模特養ホーム整備の検討・実施も決まっています。

介護保険制度改悪を防ぐための論戦にも力を尽くし、介護保険運営協議会委員として奮闘しています。



議会論戦が多くの子供の犠牲にも取り上げられました。